

記者発表資料

永田クラブ  
国土交通記者会 へ貼り出し



平成19年11月5日  
内閣府（防災担当）

## 「ぼうさいカフェ in みやこじま」の開催について

内閣府は、防災に関する知識をより魅力的な方法でわかりやすく理解してもらうため、有識者と市民が双方向の対話により、身近に防災について話し合う「ぼうさいカフェ」を開催します。今年度は全国で10ヶ所の開催を予定しております。

「ぼうさいカフェ」とは、日ごろは防災にあまり関心のない方々に、気軽な気持ちで災害や防災に関する知識にふれてもらい、できることから行動を起こしてもらうことを目的としたイベント群です。

これによって、全国各地で減災の取組に自発的に着手していただくための情報を提供し、今後、各地において、日頃からの具体的な備えを実践していただくことによって災害被害を軽減する国民運動を広めてまいります。

今般、来る11月9日(金)に沖縄県宮古島において「ぼうさいカフェ in みやこじま」を下記のとおり開催します。残る開催についても現在企画を進めており、決まり次第公表してまいります。

### 記

名 称 : ぼうさいカフェ in みやこじま  
～おとなはなぜにげないのか?!～

日 時 : 平成19年11月9日(金) 18:00～20:00

場 所 : 宮古島市中央公民館 研修室  
(沖縄県宮古島市平良字下里315)

主 催 : 内閣府、宮古島市、防災推進協議会

当日の取材申込みは、事前に担当までご連絡ください。

「ぼうさいカフェ」については下記のホームページからご覧いただけます。

<http://bousai-cafe.jp/>

<問合せ先>

内閣府政策統括官(防災担当)付参事官(災害予防担当)付

参事官補佐 渡部、国民運動推進担当主査 岩間

電話: 03-3503-9394(直)

# おとなはなぜ

# にげないのか?!



※ナーパイとは  
古くから城辺町に伝わる  
津波よけのお祭りです。

おとな達は  
なぜにげないのか?

時はすぎ、二〇〇二年。  
津波けいほうが発令  
しかし、島人達は、  
津波の見学に……。

およそ二百年前、  
宮古島を  
高さ三〇mとも  
いわれる  
大津波がおそった。  
この時の被害を  
後世に伝えるべく  
「ナーパイ」※  
がはじまった。



宮古島の災害というと、みなさんは台風のことを思い出されるところと思いますが、実は、過去にさかのぼると地震や津波で大きな被害を受けているんです。そんな「いつおきるかわからない」災害について、子供たちの出し物や「ナーパイ」を見ながら、専門家の先生もまじえてみんなで考えてみませんか。

## とき

平成十九年

十一月九日（金曜日）

十八時～二十時ぐらいまで

## ところ

宮古島市

中央公民館研修室

（宮古島市平良字下里三一五）

## 定員

五十名くらい  
（直接会場へお越し下さい）

## 参加費

無料です！

お茶・軽食を楽しみながら、  
専門家の先生と気軽に  
「ぼうさい」について  
話してみましよう！

話題提供者  
片田敏孝  
先生

工学博士  
群馬大学大学院 教授



内閣府や各地の防災の委員をつとめ、同時に全国各地を歩いて、「なぜ、人は災害の時に逃げないのか」「どうやって被害を減らしたらいいんだろうか」などのことを、地元のみなさんと一緒に考えられている先生です。

一、砂川地区  
子どもたちの  
アトラクション  
一、ナーパイの  
映像上映  
一、片田先生と  
島のぼうさい  
話しあい



—「ぼうさいカフェ」とは—

日ごろは防災にあまり関心のない方々に、気軽な気持ちで災害や防災に関する知識にふれてもらい、できることから行動を起こしてもらうことを目的として開催しております。今年度は宮古島を含む全国10カ所で開催する予定です。

参加者には、ぼうさいカフェならではのプレゼントを用意しています。ぜひ、遊びにきてくださいね！

【主催】内閣府、宮古島市、防災推進協議会 【後援】宮古支庁

<http://bousai-cafe.jp/>

【協力】社団法人 宮古観光協会、社団法人 宮古青年会議所、宮古テレビ株式会社、宮古島海上保安署、宮古島漁業協同組合、宮古島サンゴ礁ガイドのなかまたち、宮古島市消防本部、宮古島地方気象台

【問合せ先】宮古島市 総務部・総務課 防災危機管理係 TEL0980-72-1277

ぼうさいカフェ事務局（日本ミクニヤ株式会社）TEL044-822-3928

（五十音順）